

【2016年～2018年】

民具通信



西中国山地民具を守る会

『石見地方の山城が語る地域の歴史』

3月6日(日)午前10時から、金城町波佐、ときわ会館において、第41回文化講演会が西中国山地民具を守る会の主催で開催されました。講師は、益田市在住の郷土史家岩崎健氏。「石見地方の山城が語る地域の歴史」と題して講演されました。浜田市議会議員、平石誠、野藤薫、森谷公昭、上野茂、芦谷英夫の各氏をはじめ広島、石見地域から山城に関心のある方々が多数聴講されました。

岩崎先生は、かつて、益田市の月刊タウン誌『結』の紙上で213回(18年間)にわたり島根・広島・山口の山城調査・研究の成果を掲載された山城研究のエキスパートです。

講演では、石見地方の山城を一枚の地図上に表し、各城郭の詳細な縄張り図48葉を基に歴史的背景を解説されました。また、波佐一本松城については、島根県指定史跡にすべき遺跡であるとお話しされました。なお、地元では、6月4日(土)に「学ぶ博物館」探検隊リレー講座②「波佐一本松城を観て歩く」が開催されますので現地踏査にも是非ともご参加ください。



『民俗資料回想セラピー』の活用を

浜田市金城民俗資料館の展示中の民具を活用した、高齢者の認知症の予防と抑制のために回想セラピーとして、昨年からプログラム化して、グループ等での来館をお待ちしています。

45年前に、映像で納めた民俗・風俗・習俗の貴重な写真データを基に「回想セラピー」の視聴と民具そのものを観て往年の記憶を呼び起こし、認知症予防に役立てようとするものです。

所要時間は、「資料館の民具見学に1時間。回想セラピー映像視聴(半世紀前の年中行事を中心に)に1時間。ディスカッション30分。」の2時間30分を予定しています。

この「回想セラピー」をご利用の場合は、事前の予約が必要です。(TEL 090-4697-2818)担当者迄。



荒起こし作業



屋根葺き替え作業



楮蒸し作業

『藍染の型紙展』に寄せて

今回の企画展は、波佐地方での紺屋の藍染に用いられていた伊勢型紙500点の中から常時入れ替え展示して、より多くの型紙をご覧いただくようにしています。以下、伊勢型紙についての資料説明の参考になさって、企画展をご案内ください。企画展の会期は、7月1日～12月28日です。

波佐地方の紺屋について

文化・文政の頃、東谷村(金城町長田)の室屋谷・源右衛門源次は、紺屋職を営み藍染を業としていた。天保年間になって、後添えとして来た嫁の弟堂迫・紋治に紺屋職を譲り、その子愛吉が受け継ぎ、明治中期まで紺屋職を営んだ。今回の藍染の伊勢(白子)型紙は、江戸末期から明治中期までの間に使用していた伊勢型紙500点である。なお、西谷村(金城町波佐)の栗ノ木田・小林久太郎は、明治末期頃から紺屋職を営み、昭和18年頃まで藍染を業としていた。

【型地紙 (かたじがみ)】

型紙には、美濃紙が使用されました。美濃地方では型紙専用の簀桁(タテ・ヨコ用)を用いて漉いた薄い和紙を3~4枚をタテ・ヨコ漉きの和紙を交互に柿渋で貼り合わせて強靱な型地紙を作ります。この生紙を天日に干し、一週間の燻蒸による強度を生み出し、伸縮をしない型地紙が生み出されます。

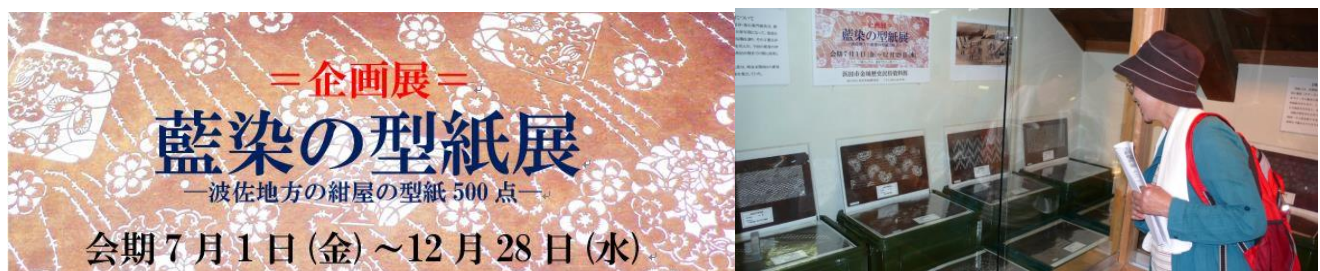
型紙が使用されるまでには、約1年間(製造工程と寝かせ期間)の工程を経て半永久的な型紙として、漸く使用され、修理も可能なものとなります。

【彫刻技法】

基本的には、突彫、錐彫、道具彫、縞彫の4つの技法が組み合わさって、製作されます。糸入れとして補強される場合もあります。彫師が使用する小刀はすべて彫師が自ら製作します。一度に、7~8枚の型紙を重ねて縦横1分の狂いもなく製作されます。

【型紙の使用方法】

型紙を使用する前に、型紙を水につけて、伸縮防止をはかります。反物の上に型紙を置き、防染糊を置いていきます。一色につき一回ずつ染めるため、柄によっては何回もこの作業を繰り返します。糊のついた反物を染料で染めては、糊を洗い落とします。糊を洗い落とすと、そこが白くなり模様が完成します。



秋の文化財研修を久喜・大林銀山で開催

今回の文化財研修旅行は、波佐公民館とタイアップして11月15日(火)に開催しました。研修先は、邑南町の久喜・大林銀山遺跡を中心に吉川正田所公民館長のガイドにより各地の銀採掘現場と製錬所跡を見学して、往時の繁栄ぶりを彷彿させました。志都の岩屋神社は、古代において鉄穴流しで現れた巨石を祀った神社では？と考えられるもので、裏山や右側の鉄穴流しの形跡がなごりを留めていた。邑智郡内の矢上地区、田所地区は古代の砂鉄採取地として繁栄し、いち早く、砂鉄採集を終えた地域でもあった。近世になって銀の採掘で繁栄したものであった。昼食は、「むらび」において、郷土料理を堪能して午後5時前に帰着した。

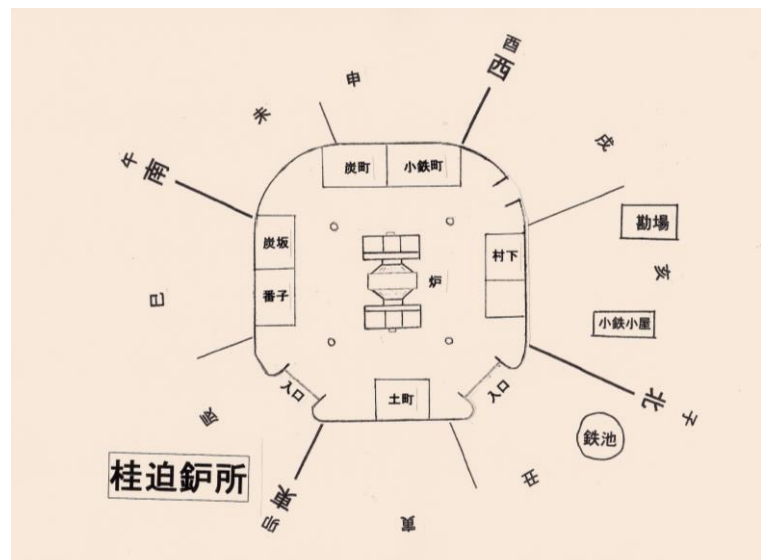


桂迫鉦所の吹小屋は丸打形式と判明

現在、調査を進めている「たたら製鉄文書」から、桂迫鉦の吹小屋の形式は、四隅丸形の丸打型であったことが判明した。また、現地踏査で鉦炉の中心位置も小舟の天井部分が3か所陥没してトンネル部分が5mばかり南北に直線のラインが露出しているため鉦炉の位置が確認できた。勘場のあった位置や下小屋、廃材捨て場も確認された。勘場も風水によって、帳場、鉄蔵、くど、雪隠の部屋割りがされている事も判明した。



東側から見た桂迫鉦。白帯の部分が鉦所勘場、鍛冶屋のあった位置である。右の図は、鉦の吹小屋の風水を用いた復元図。



『千年比丘一号墳と石見地方の古墳』

3月12日(日)午前10時から、金城町波佐、ときわ会館において、第42回文化講演会が西中国山地民具を守る会の主催で開催されました。講師は、松江北高等学校教諭大谷晃二氏。「千年比丘一号墳と石見地方の古墳」と題して講演されました。浜田市議会野藤薫議員はじめ大阪、広島、石見地域から古墳に関心のある方々が多数聴講されました。岡本昭二県議会議員よりご祝辞を頂きました。

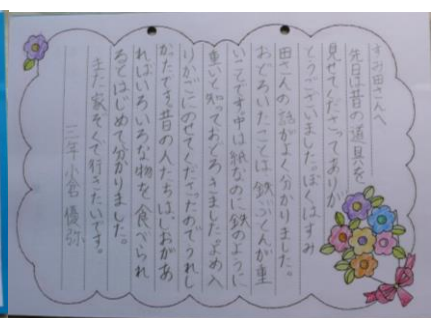
大谷先生は、浜田高校在勤中に千年比丘一号墳を発掘調査され、25年ぶりの講演となりました。講演では、①古墳時代とは。②千年比丘一号墳の調査。③石見の古墳について。特に、千年比丘一号墳の墳丘、埋葬施設、埋葬順序の推定、木棺の復元、時期について古墳文化が判り易いお話を頂きました。

土師器編年(小谷式土器)から、出土した鼓形土器は3世紀4/4~4世紀1/4であると発表されました。埋葬施設の真上に置かれた「石主」(弥生の砥石)と鼓形器台の祭祀の分布が重なる弥生後期から古墳前期墳墓は中国地方でも数少ないことが判った。映像を観て楽しい古墳学習が出来た一日でした。



「昔の道具」学習で金城資料館見学

金城町の波佐小学校・雲城小学校・今福小学校の3年生が金城民俗資料館の民具見学と映像資料による「昔の道具」学習で2時間のセット学習を行いました。参加児童の皆さんから礼状を頂きました。



民具通信

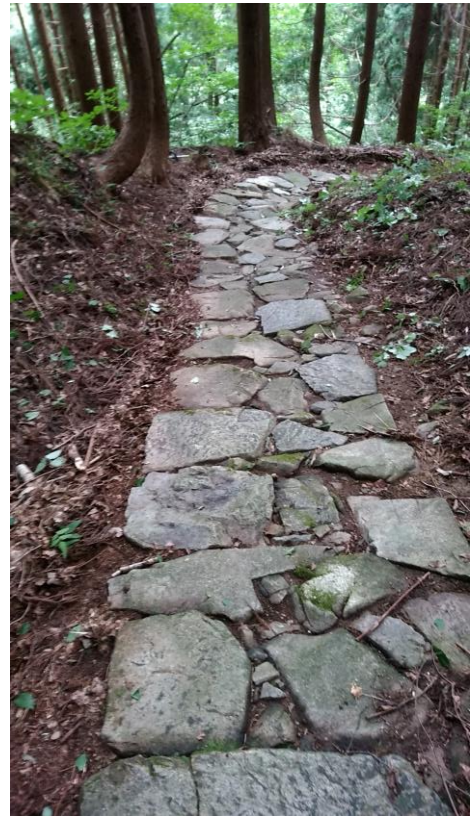
第 33 号 2017 年 7 月 23 日

浜田市金城民俗資料館内
西中国山地民具を守る会

浜田市指定史跡・笠松峠の畳石路草刈清掃完了

西中国山地民具を守る会は 7 月 23 日(日)、全長 1,800m の区間の草刈清掃作業を終え、安全に畳石路の通行が出来るようになりました。畳石路の草刈清掃は、文化財の保護活動の一環として、昭和 53 年から毎年 7 月に実施しているものです。中腹の立石(記念碑)から大芝の間では、春から飛来して、子育てをしているアカショウビンの鳴き声を聞くことができます。

右側の畳石路の写真は、現在の状況です。訪問されるお方は、安全対策の為に熊鈴を、ご持参下さい。



企画展ガイド研修会を実施

6 月 30 日に、歴史民俗資料館において、7 月から開催される企画展「たたら製鉄と地域経済」のガイド研修会を実施しました。午後 6 時から 7 時間 30 分まで、たたら製鉄について企画展内容の勉強会を行なった。

企画展『たたら製鉄と地域経済』開催中！

会 場：浜田市金城歴史民俗資料館

会 期：平成 30 年 3 月 31 日(土)まで

開 館 日：土曜・日曜日のみ。(団体で見学の場合は、事前にご予約いただきますと開館日以外でも開館致します。) ※予約等照会先 ☎ 090-4697-2818 へ。

入館料金：大人 300 円(200)、中学生 100 円(60)、小学生 60 円(30)※0内は 25 名以上の団体割引料金額です。なお、入館料金は、2 館共通料金です。

展示内容：企画展「たたら製鉄と地域経済」の外に、常設展「能海寛歴史資料展」、「紺屋の伊勢型紙展」を行っています。

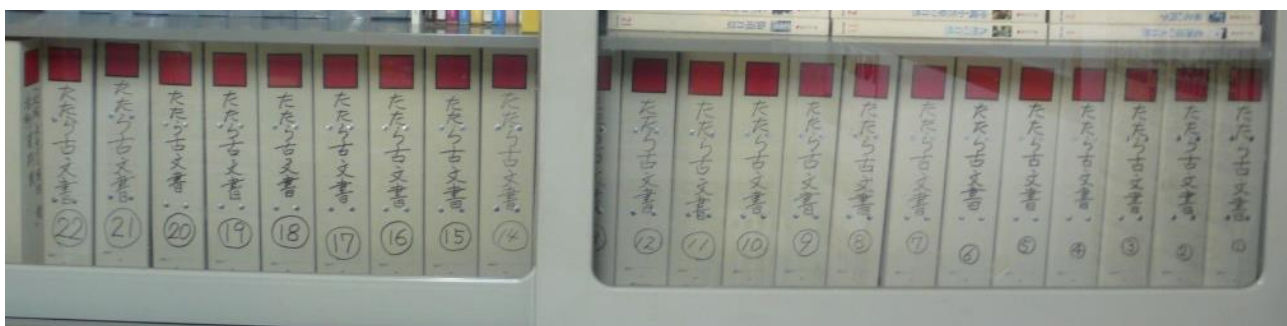
別館案内：浜田市金城民俗資料館では、常設展「波佐の山村生産用具」(国指定重要有形民俗文化財) 及び「波佐の山村生活用具」(島根県指定有形民俗文化財)

そ の 他：民俗資料回想セラピー、学べる博物館として 25 本の PP 映像視聴も出来ます。

たたら古文書悉皆調査完了

平成23年度から取り組んできた「たたら製鉄」関連古文書の悉皆調査は、この程、完了しました。総点数6,200点にのぼる古文書は、古和家、佐竹家、桑原家の江戸期の、鉄山経営の子孫の方が、地域の宝として、民具を守る会へ寄託戴き、5年間で、全点数写真撮影とA4判データのデジタル処理が終了しました。今後は、市指定歴史資料として文化財指定の上申を予定しています。下の写真は大幅帳を除く整理されたものです。

調査の成果として、明年1月27日(土)午前10時30分～12時、浜田市役所本庁4階講堂で浜田開府400年記念・市民講座「たたら製鉄と地域経済」と題して、隅田会長が講演を行います。都合のつくお方はご参加ください。



文化財防火デーの行事について

文化財防火デーにちなむ消防防火訓練を下記の日程で開催します。自衛消防隊の皆さん多数のご出席をお願いします。

記

開催日時 平成30年1月27日(土) 午後2時～3時

会場 浜田市金城民俗資料館

訓練種別 消防総合訓練(避難誘導・通報・消火訓練)

資料館ガイド研修会

日時 平成30年1月27日(土) 午後3時～5時

会場 ときわ会館 会議室

テーマ アンケート調査に基づく資料館のガイドについて

能海寛生誕150年に伴う企画展

チベット巡礼探検家・能海寛は、明治元年5月18日生まれで、平成30年が生誕150年となります。金城資料館では、生誕150年記念して企画展を能海の誕生月に合わせて、5月1日に開催すべく準備を進めています。地元、能海寛研究会では、7月8日に「能海寛生誕150年記念シンポジウム」が、計画されています。また、能海の母校、東洋大学では、能海寛生誕150年「記念フォーラム」と「パネル展示会」が計画されています。

民具通信

第35号 2018年1月28日

浜田市金城民俗資料館内
西中国山地民具を守る会

文化財防火デーに伴う消防総合訓練

毎年1月26日が文化財防火デー(法隆寺の金堂(国宝)が火災で焼失した日)をと定められています。金城資料館では、自衛消防隊を組織して、毎年、この時期に消防訓練を行っています。1月27日、浜田市東部消防署金城出張所員(小林、上原)2名の指導の下、消防総合訓練(通報・避難・誘導・消火)を行いました。

資料館ガイド研修会

金城資料館の指定管理者である西中国山地民具を守る会では、5月から企画展『能海寛生誕 150年記念』を実施するため、能海の業績と生涯を学び、事前のガイド研修会を実施しました。



総合的な学習／社会科の学習で金城資料館へ

2月2日、雲城小学校3年生(25名)が、「民具をみることで、昔の人々の生活を知り、先人の工夫や努力について学ぶ学習」で金城資料館へ来館されました。いろいろの間で、4名の代表が横座、瀬戸座、沖座、下尻座に配置し、それぞれの約束事。機能について体験しました。昔は、全農家が紙漉きを行っていたこと。各家庭で家族の衣類を主婦が機織りをしていたこと。江戸時代は、紙布の作業着が大半を占めていたこと。たたら製鉄の盛んだった時は、農家で馬を飼育して、砂鉄や銑鉄を運搬して駄賃収入を得ていたこと。たたら製鉄が消滅してからは、炭焼きで農家収入を得ていたことなどを学習しました。



第43回文化講演会

| | | | |
|-----|-------------------|-----|---------------------|
| 日時 | 3月11日(日) 午前10時～正午 | 会場 | ときわ会館(波佐公民館) |
| 演題 | 『波佐一本松城と陣城遺構について』 | 講師 | 山根正明氏(島根県中世史研究会世話人) |
| 主催者 | 西中国山地民具を守る会 | 入場料 | 無料 |

『波佐一本松城と陣城遺構について』 ～山城の縄張り調査からみえるもの～

3月11日(日)午前10時から正午まで、波佐ときわ会館において、第43回文化講演会が西中国山地民具を守る会主催で開催されました。講師は、島根県中世史研究会代表世話人・山根正明氏、『波佐一本松城と陣城遺構について』～山城の縄張り調査からみえるもの～と題して講演されました。

講演では、山城の発達、山城の築造。縄張り縄張り図、普請技法。住居と政庁が一体となった寝小屋式山城。戦略構想に対応する陣城。戦況に即応した築城と改修。波佐一本松城の連続堅堀(畝状空堀群)などは特異な城郭である。今後も現地調査を継続して城域全体の調査が必要と提言された。



講師の山根正明氏



講演会場の模様

文化財研修旅行／吉備地方の山城巡り

今回の研修旅行は、3月18日(日)に吉備地方の山城(松山城・鬼ノ城)を中心に頼久寺の枯山水の庭園、吉備津神社の4ヶ所の文化財研修を行いました。特に、松山城は標高430mを中心に築かれた天主の現存する山城で別名高梁城ともいう。雲海の時期には天空の城として有名である。鬼ノ城は日本の古代山城(水城状遺構)として国指定史跡となっている。東西南北に各門が築かれているが時間の都合で西門のみを訪問した。麓の鬼城山ビジターセンターの展示室は発掘調査の写真掲示もあり必見の施設である。



備中松山城にて



鬼ノ城西門にて

能海寛生誕 150 年企画展開催に当って

能海寛は、明治元年5月18日生まれ、ことしで生誕150年を迎えました。金城資料館では5月1日から企画展『能海寛の目指した世界平和』を開催します。

能海は、生涯を通して「新仏教徒運動」を提唱して「宗教学」の確立に尽力しました。能海は過去の歴史を検証して、世界では宗教戦争が絶えない事象を挙げて唯一、戦争の無い「仏教」こそが、世界平和に繋がると確信した。世界の共通語である英語で經典を作ることを考えた。その為には、サンスクリット語の原典を入手する必要がある。18歳でチベット探検を公言して、12年の歳月を語学研究に費やした。

国内では、「新仏教徒」運動を推進して、英文会を組織し京都で、『New Buddhist』、東京で、『Wisdom and Mercy』を発行して、英文による機関誌の発行を実践した。慶応義塾時代は、「土曜会」を組織、哲学館時代は、「釈尊降誕会」を立ち上げた。

哲学館在学中に、「純正哲学自解」を記述し、卒業後は、『世界に於ける仏教徒』を哲学書院から出版して、西藏探検の必要を発表した。全国主要都市の書店で販売された。

5億仏教徒を束ねて、仏教の聖地・天竺で世界宗教会議所の設置と英訳經典を訳出し「一統宗教」を目指して行動を起した。能海は、チベットから無事帰国したならば、海外からの留学生も受入れる石見大教校を設置して、小・中・高一貫の全寮制の仏教学校を計画していた。この為、明治28年には、波佐俱樂部を設立して、『與地誌略』を教材に、地域の若者に国際化の理解学習も手掛けていた。

明治34年4月、雲南の奥地にて、不帰の旅人となったが、生誕150年の今日、『世界に於ける仏教徒』に記述されている内容など哲学・思想が脈々と生き続けている。

能海寛生誕 150 年記念企画展

『能海寛の目指した世界平和』

戦争の無い世界平和を願い「宗教学」の完成を目指した。明治21年10月から「新仏教徒」運動を興し、『NEW BUDDHIST』の創刊で英文による仏教発信とサンスクリット經典を入手して世界5億の仏教徒に統一した英訳經典の訳出を生涯の仕事とした。

浜田市金城歴史民俗資料館



会期 平成30年5月1日(火)～平成31年3月31日(日)

開館日 土・日曜日 am9:00—pm5:00

入館料 2館共通(大人300円、中学生100円、小学生60円)

団体割引 25名以上(閉館日の見学を希望される団体は、事前にご予約願います。 ☎ 090-4697-2818

※金城資料館は2館あります。入館料は共通券です。

【資料館勤務者】来観者へ手交する『企画展用パンフ』と企画展「アンケート調査用紙」をご記入いただき、回収することを心がけてください。※来観者のニーズを把握するためです。

民具通信

第37号 2018年7月23日

浜田市金城民俗資料館内
西中国山地民具を守る会

市指定史跡「笠松峠の畳石路」草刈清掃

毎年実施している文化財保護事業として、市指定史跡の「笠松峠の畳石路」の草刈り清掃を民具を守る会のメンバーが奉仕作業を実施した。当日は、午前8時から3時間、頂上からと下からの2班に分かれて実施、中間の立石(記念碑)で、双方が落ちあい作業を終了した。途中、草刈りと落下している樹の枝などを撤去して、畳石が容易に歩行出来るように整備した。この畳石を見学されるお方は、必ず複数でお出かけください。熊鈴を必ず携帯して、熊除けのシグナルを発信して安全を確保して下さい。



【笠松峠の畳石路】この畳石路は、文化8年(1811)に完成した。江戸時代は、津和野奥筋街道として津和野藩主亀井公も、この街道を幾度も通行された。頂上から400m下った位置に、大芝という、殿さまの休憩された3畝歩ばかりの広場があり、涼みの松もある。更に400m下ると立石という記念碑。更に200m下ると鉄穴流しの遺跡に出会う。ここから出た閃緑岩を利用してこの畳石が造られた。更に200m下ると亀石という巨石に出会う。ここが通行者の休憩場所で、10m長さの石垣が背負い子のままで、休憩できる施設である。全長1,800mの内、1,200mの畳石路が敷設されている。道幅は、4尺(120cm)で、各石の鼻先は馬のヒズメが滑らないように浮かせて施行されている。古くからの街道で、井野村から砂鉄を馬の背で運搬するため畳石路に改修されたものである。

金城資料館の周辺環境整備作業

7月22日には、金城民俗資料館の館内のガラス拭き、館庭の草刈り、樹木の選定作業、国道に面する歩道、歴史民俗資料館周辺の草刈りなど11名の参加の下で環境整備の奉仕活動を行った。

企画展『能海寛の目指した世界平和』

能海寛生誕150年記念として、歴史民俗資料館で好評開催中です。開館日は、土・日曜日ですが、団体等で入館ご希望のお方は、☎090-4697-2818迄、お問合せ願います。



民具を守る会 50周年事業について

昭和43年11月にスタートした民具を守る会は、今年で満50年を迎えました。この間、会員各位におかれましては、ご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。会員ご家族のご理解をいただき会の目的遂行にご協力をいただきました。平素の感謝の意を込めて、記念事業を次のとおり開催いたします。会員ご家族の皆さん御そろいでお出かけ下さいませ。

1. 記念式典&記念講演の開催

◆ 記念式典(感謝状贈呈)

日時 11月11日(日) 午後1時~2時

「民俗資料保護活動50年間を振り返って」映像視聴

◆ 文化講演会の開催

日時 11月11日(日) 午後2時~4時

演題 「『宝は田から』~これからの民俗学・民具学」

講師 神奈川大学大学院教授 佐野賢治氏

◆ 金城資料館見学会 午後4時~5時

資料館の解説・ガイドを行ないます。

2. 記念事業2件

① 金城資料館前の看板改築

創立50周年記念として浜田市へ寄贈。

② 記念誌の発刊『実践民俗学50年の歩み』

民具を提供いただいた地区民へ贈呈。

50年間にお世話になった皆様方へ贈呈。

3. 永年会員への感謝状贈呈

創立以来50年間会員として活動した会員へ
上山信人、隅田哲夫、加納昭則の3名

4. 50周年記念懇親会

日時 11月11日(日) 午後5時30分~8時

会場 川根家で開催

会員全員(ご夫婦で)。

ご来賓の皆様、物故会員のご家族もご招待します。

西中国山地民具を守る会 50 周年『記念誌』を発行

文化財の保護・啓蒙活動を推進して、今年が満 50 年を迎える西中国山地民具を守る会は、このほど記念誌『実践民俗学 50 年の歩み』(A4 カラー版・40P)を発刊した。

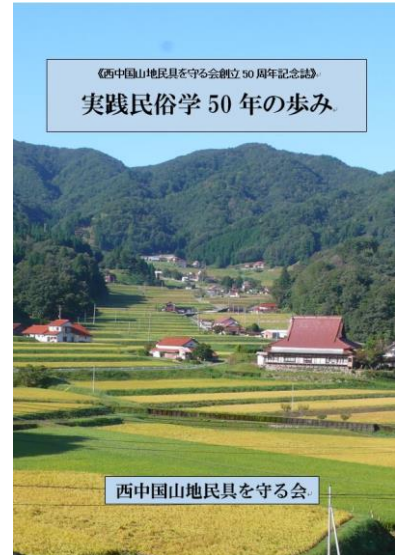
昭和 43 年に会を結成して以来、民俗資料の調査・研究・収集保存・活用・啓蒙活動を 50 年間に亘り実施してきた文化財の保護団体である。

特に、「実践民俗学」を提唱して、「紙漉き習俗」の再現。「農具を用いた労働慣行」の再現。麻の栽培」と「麻蒸し」記録作成。古老による「トロヘイ」の復元・記録作成。古代「たたら製鉄」の再現実験。「綿花の栽培」記録作成。など 11 種類の聞き取り調査に基づく、失われた労働習俗を再現して、記録に留め、活用するという主旨の活動である。

現在。浜田市から「金城資料館」の指定管理を請け、金城民俗資料館において、「民俗資料回想セラピー」(認知症の予防・抑制のためのプログラム)を実施して、高齢者のグループ、介護福祉関係者の利活用を頂いている。プログラムは、①民俗資料の見学。②映像による視聴覚学習。③民俗回想座談会。所要時間 2 時間 30 分を希望する団体へ資料館で「プラス・ワン活動」として実施している。

その他に、平成 17 年度から実施している「地域まるごと博物館」は、他団体とタイアップして、金城資料館(浜田市金城民俗資料館・浜田市金城歴史民俗資料館)を核として、半径 1Km の範囲にある観光資源全体をミュージアムとして、「カルチャーミュージアム(学べる)博物館」運動を推進している。

このほど発刊した『記念誌』は過去に民俗資料を提供いただいた御礼として、地区内全戸へ無償配布された。11 月 11 日(日)には記念式典・記念講演が開催される。



西中国山地民具を守る会 50 周年記念行事のご案内

とき 平成 30 年 11 月 11 日(日) ところ ときわ会館 浜田市金城町波佐

記念式典 午後 1 時～2 時 『実践民俗学提唱 50 年の歩み』

50 年間の活動記録をパワーポイントによる映像を視聴していただきます。

記念講演 午後 2 時～4 時

演題 『宝は田から』—これからの民俗学・民具学—

講師 佐野賢治氏(神奈川大学教授)

入場料 無料 主催者 西中国山地民具を守る会

資料館見学会 午後 4 時～5 時 金城資料館(2 館)の解説・ガイドを行います。

50周年記念式典・記念講演開催

11月11日(日)、金城町波佐・ときわ会館において、西中国山地民具を守る会50周年記念式典・記念講演を行った。式典では久保田浜田市長、大屋島根県議会議長はじめ多くのご来賓者の参加の下に盛大に開催した。50年間在籍の会員へ感謝状を贈呈した。受賞者は、上山信人、隅田哲夫、加納昭則の3名の皆さん。記念事業として金城資料館庭に再建された「屋根付き看板」1基を浜田市長へ目録で贈呈した。記念誌『実践民俗学50年の歩み』を発刊し、波佐・長田・小国地区の全戸への頒布と地区外からの参加者の皆様へも記念誌を配布しました。式典の中で50年間の活動内容を放映した。

記念講演は、『宝は田から』—これからの民俗学・民具学—と題して、神奈川大学教授の佐野賢治氏による映像を交えてのご講演をいただいた。その後、金城資料館でガイド付き見学会、午後6時から川根家にて記念懇親会を行ない、50年を振り返った。下記の写真は当日のスナップ写真です。



50周年記念式典の様



ご来賓の皆様



感謝状受賞者の加納氏と上山氏



浜田市へ記念事業の目録贈呈



記念講演・佐野賢治氏



記念講演の様



記念祝賀会・川根家にて